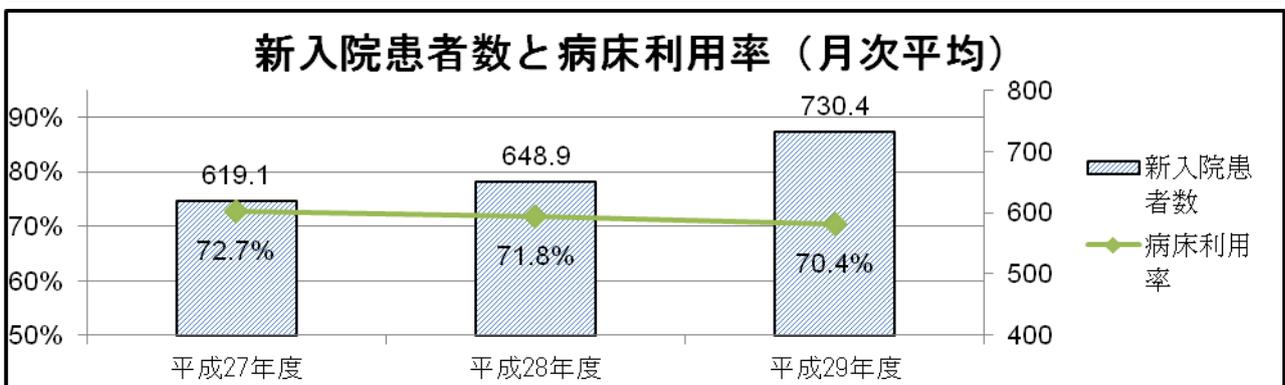
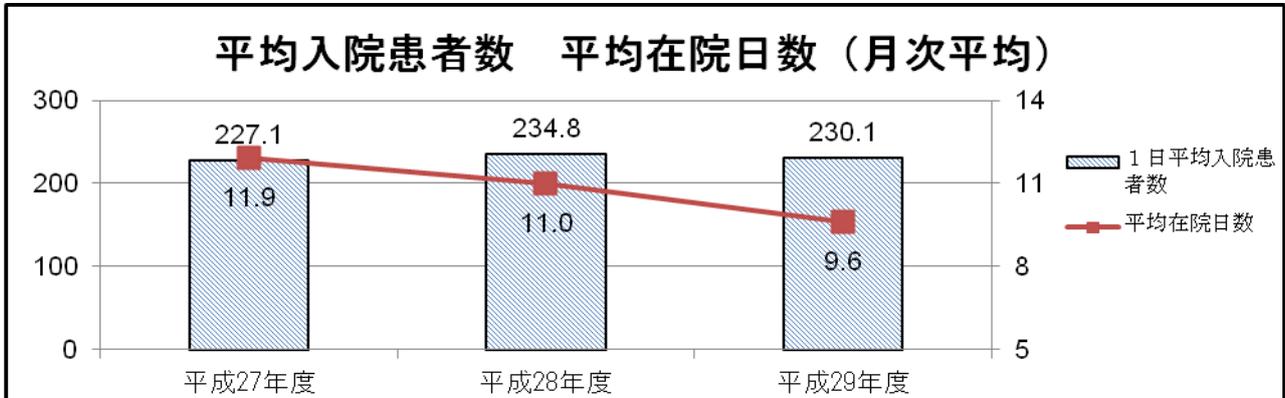


平成 29 年度の業務状況について

1. 入院関係について

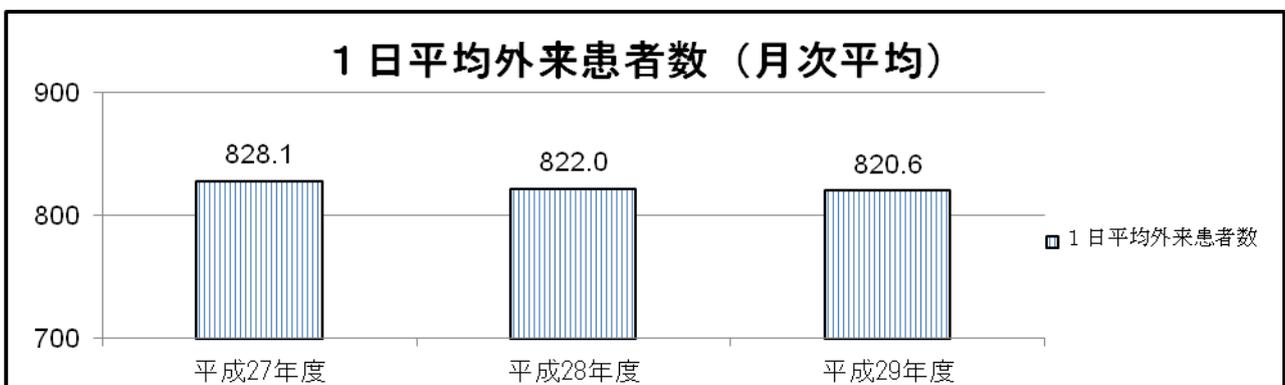
入院患者については、病床利用率 80%を目標としています。



【要因等】

- ・ 1日平均入院患者数・病床利用率ともに、平成28年実績と比べて横ばい状態です。
- ・ 新入院患者数については、増加している理由については、救急車搬送患者の受入件数の増加に伴い緊急入院ののち数日で退院する患者が増えた事が1つの要因と思われます。
- ・ また、平均在院日数が短くなった分、新入院患者数が増加しても病床利用率が上がらない状況となっています。平均在院日数が短くなった理由については、重篤化している患者より比較的軽症な患者が増加していることが要因と思われます。

2. 外来関係について

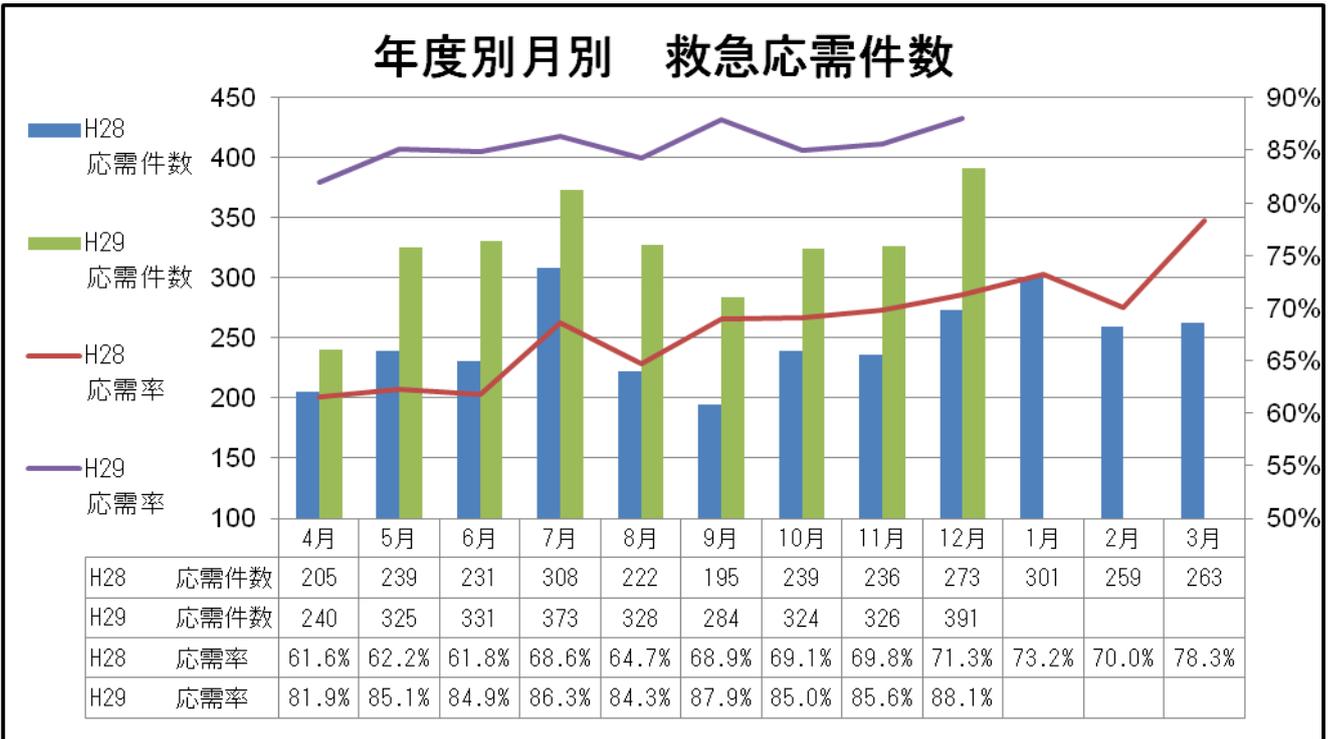


【要因等】

1日平均外来患者数は、ほぼ横ばい状態です。これは、病状が安定している患者には「かかりつけ医」への逆紹介を行っていることが要因と思われます。

3. 救急関係について

平成 28 年度の救急受入れ件数が低迷していたため、応需件数を向上し応需率 80%を目標としています。

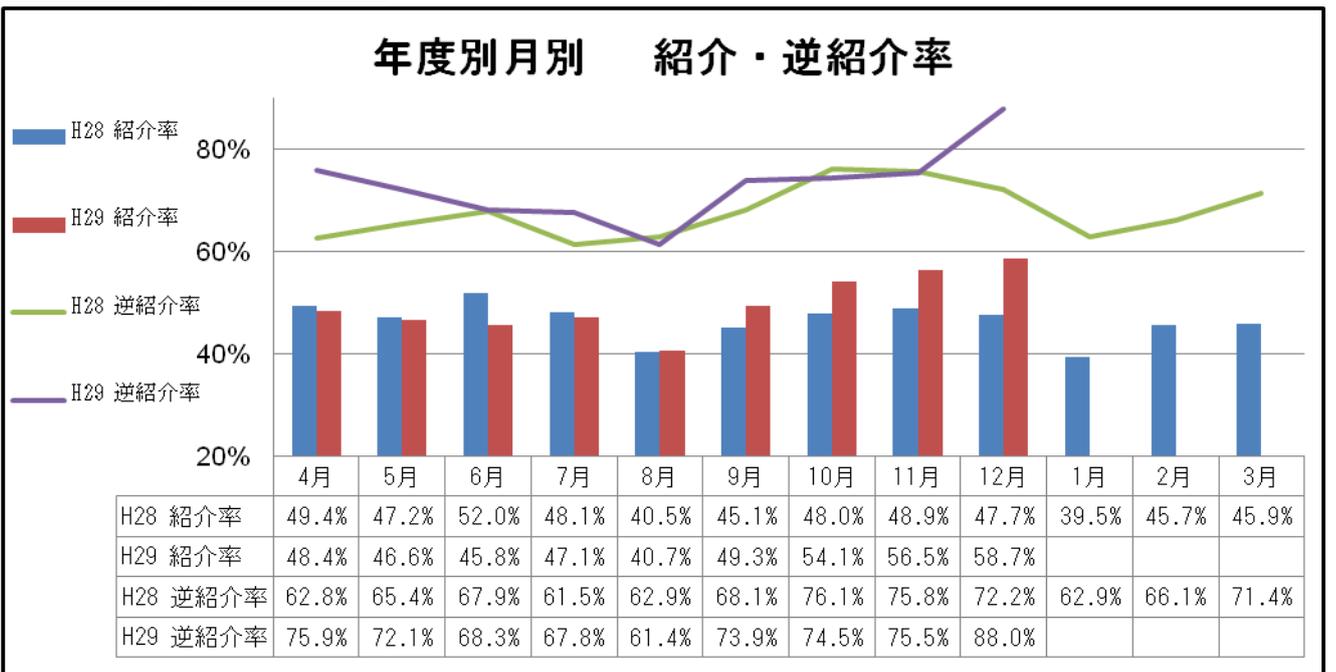


【要因等】

平成 29 年度は公立病院としての責務を果たすことが病院の使命であることを改めて職員に徹底し、応需件数・応需率が向上しています。

4. 紹介率・逆紹介率について

地域包括ケアシステムの推進及び「地域医療支援病院」の指定を目指し、指定要件である紹介率 50%・逆紹介率 70%を目標としています。



【要因等】

地域の医療機関への病院の働きかけにより、12 月までの紹介率の平均が 49.3%、逆紹介率は 72.5%となっています。

平成 30 年度の取り組みについて

1. 趣 旨

現在、平成 29 年度を始期とする「市立ひらかた病院改革プラン」に基づき、本院の経営の健全化に向けた取り組みを進めているところですが、平成 30 年度においてその趣旨を踏まえつつも、本院が地域における中核病院としての役割を果たしていくため、特に重点的に取り組むべき方針を決定し、院内職員に徹底していくものです。

2. 重点的な取り組み方針

(1) 地域連携の強化

地域診療所の信頼を高め、紹介患者数・紹介率を向上させるため、訪問をはじめとした営業活動を強化するとともに取組内容の幅を広げます。

また、これらに対応するため、地域医療連携室の体制を強化します。

(2) 断らない救急医療の実現

市立病院の責務として、救急搬送応需率の維持向上に努め、「断らない救急医療」の実現を目指します。

(3) 手術件数の増加

急性期病院として、また、がん診療拠点病院として、紹介患者も含めた手術件数を増加させます。

3. 新たな診療について

(1) 心のケア外来について

近年、超高齢化が進む中において、本院においてもニーズが高まっている入院患者の精神的フォローを行っていくため、本年 1 月から新たに精神科を標榜し、診療を行っているところです。

平成 30 年度は、「心のケア外来」として、予約制による外来受診を実施します。

(2) 乳がんドックについて

平成 29 年 12 月から新たにふるさと納税において開始した「乳がんドック」について、平成 30 年度からは一般検診においても受付を実施します。検査項目は、マンモグラフィ、超音波検査、視触診です。